

平成29年度 南区特色ある区づくり事業一覧(区役所企画事業)

【委員提案事業】

番号	区分 (新規・継続・ 企画)	事業名	提案委員名	担当 (担当部会)	事業概要
1	企画	「和太鼓のまち 南区」PR事業 ～和太鼓でのまちの活性化、観光振興を！～	大那 孝	産業振興課 地域課 第3部会	<p>【目的】 南区の和太鼓チームがコラボレーションすることによって、南区の活性化と観光振興に寄与することを目的とする。</p> <p>【内容】 平成22年度「特色ある区づくり予算」で事業化し、伝統の「白根大凧合戦」をPRする和太鼓チームが発足した。このチームは、昨年は海外公演もこなすほどになった。 この事業の第2弾として、南区の和太鼓チームが一体となって合同演奏会などによる技能の向上と和太鼓の魅力を広め、「和太鼓のまち 南区」をPRするとともに、地域の活性化と観光振興に取り組む。</p> <p>＜3か年事業計画＞ ①29年度 南区の和太鼓チーム合同演奏会 (南区をイメージした楽曲づくり) ②30年度 ゲストチームを迎えての和太鼓フェスティバル開催 ③31年度 和太鼓フェスティバル開催 (全国大会参加を目指して！)</p> <p>＜補足＞ ・南区の曲を作って、白根・味方・月湯の3地区で合同で演奏を行いたい。 ・フェスティバルの開催は、春の桜の時期に行いカルチャーセンターの野外ステージで行いたい。3地区だけではなく、近郷のチームも呼んで行いたい。</p>
2	企画	南区を山梨の勝沼の様にするぞプラン	小池芳雄	産業振興課 第3部会	<p>【目的】 南区の農家に自宅でお客を呼べる様に、看板設置・店舗改修の補助を行う。それによって、他地区、又は南区のお客が個々の農家にもっと出入りしやすくなる。</p> <p>【内容】 各農家(希望する)に、50万～100万円を店舗の改良、看板設置代に使ってもらう。10年くらいやれば、南区に100件近くの店先販売の農家が出るかもしれない。それにより、他地域から旅の人を呼べるのではないかと。</p> <p>＜補足＞ ・希望する農家の掲載したマップを作製したり、道に愛称を付けPRすることで、旅行者など多くのお客が呼べるのではないかと。 ・「勝沼」というのは、果樹を中心とした賑わいある街のイメージとして使った。</p>
3	企画	田園型政令市のモデル地域を形成する	渡辺 康	建設課 総務課 地域課 第1部会	<p>【目的】 調整区域の人口増加と公共施設の存続化</p> <p>【内容】 ・市街地に人口が集積しすぎて、調整区域が過疎化し、少子高齢化は、都市計画決定による形骸化そのものである。 ・昭和の時代の様に、2・3世帯で家族構成が実現すれば老健施設の増大化は、ある程度解消する。認知症も賑わいある地域が甦る事により解消していけると思う。また、ある程度の宅地確保も必要である。 ・コミュニティ協議会に行政が一元化する方向でいながら、地域行政に対しては、法令を緩和しつつ、少子高齢化という問題にメスを入れ、大所高所から地区コミュニティ協議会に権限と責任を持たせる時期を協議・検討すべきと思う。</p> <p>＜補足＞ ・モデル地域を選定し宅地造成を行い、農地付の土地を提供し、首都圏の人を誘致してはどうか。 ・農地が余っているので、宅地造成とまちづくりを考えている。農家も高齢化しており、後継者もいなく、廃業後の農地は、引き受け手がいなくなり荒れていく。そういうマイナスイメージを言うことよりも、まずは、人口の増加を考え、住んでいただける人たちを誘致するために必要なのは、農地付の宅地である。 ・移住を前提にして話をした場合、まず一番問題になっていることは空家問題であり、地域の中で宅地を造成するなどといっても難しいので、まずは各コミュニティ協議会に対して、地域としてどのような支援を希望するのか調査してもらいたい。</p>
4	企画	食ラボ事業	本間智美	産業振興課 第3部会	<p>【目的】 6次産業や12次産業を踏まえたアイデアの創出を、市民レベルでも実験できる仕組みにより、農業をベースとした産業・文化の発展を促進する。</p> <p>【内容】 食に関する座学から、実験、試作など、様々なプログラムを実施する。対象は子供から大人まで。</p>
5	企画	生活習慣病改善事業	本間智美	健康福祉課 第2部会	<p>【目的】 単に食生活改善を促すだけでは解決できない生活習慣病を、生活習慣の視点から改善し、8区の中で一番不健康と言われている南区の汚名を挽回する。</p> <p>【内容】 人とのコミュニケーションの改善から始まり、理想の食卓ってどんなものだろう？など、ワークショップ形式で行う。対象者は子供から大人までの各世代別で実施。新潟大学医学部と連携し、実施効果のデータ測定も行う。</p>
6	企画	ささえあいづくり事業	本間智美	健康福祉課 第2部会	<p>【目的】 身近な物を活用・工夫した「ものづくり」を通し、高齢者の課題を多世代が身近なものとして捉え・解決していく機会によって、地域全体で自然とささえあう仕組みを創りだす。</p> <p>【内容】 ものづくり職人・専門家等と共に、ワークショップ形式で行う。各コミ協を巡回しながら実施。対象者は子供から大人まで。</p>